

川越ロータリークラブ 会報 No.4



2024年7月23日 第3487回例会 会場：川越プリンスホテル5階

会員数：101名 免除出席者：2名 正会員出席者：49名 出席者：51名 早退：0名 出席率：50.5%

プログラム

点鐘 (12:30) / ロータリーソング (第4例会：手に手つないで・R-O-T-A-R-Y) / ビジター・お客様紹介 / 卓話講師紹介 / 会長の時間 / 幹事報告 / 委員長報告 / ニコニコボックス / 出席報告 / 卓話 / 点鐘 (13:30) (司会：八木SAA)

会長の時間

2024-25年度 会長 西川 孝博



ロータリーの年度は7月から6月ですが、なぜロータリーが6月決算なのか調べてみました。ロータリー

は1910年8月20日に最初の大会が開かれ、その翌日から1年回ったところで最初の決算期になったそうです。3年目あたりから会計監査を入れることになり、会計士から6月30日に決算を終えないと、8月の大会で会計監査の報告ができないという話があり、それでは6月30日決算にしようと決まったそうです。

ロータリーの決算は、12月31日までに決算報告することが定款に書かれております。通常で言えば6月30日の会計期間でお役御免になりますが、その後12月31日までの間に決算報告しなければいけません。ですので、まだ、私の前年度の坂口会員の責任が残っております。12月31日までに決算の承認を得て、初めて自分の年度のお役目が終わります。私も来年の6月30日に役員の任期は終わりますが、会計責任は残りま

すので、私と齊藤幹事は12月31日までに決算を固めなければいけません。

また、なぜロータリーが8月に大会を開くことになったのかということ調べてみますと、8月が一番会員が集まりやすいため、8月になったそうです。アメリカからカナダ、フィリピンに広がっても8月に国際大会が開かれていました。

しかし、だんだん8月は暑くてたまらないという話になりまして、アトランタの大会から6月に開かれるようになったそうです。決算はあくまで7月から6月までですが、大会自体は6月に開かれる慣習は続いているようです。

決算期も変えたらという意見もいろいろあるのですが、規定審議会というのがありまして3分の2の決議を取らないと決算期の変更はできません。ロータリークラブは世界的なクラブになっているので、アメリカの1クラブが規定審議会に提案して、簡単に換えられるものでもないで、決算期は変わらないでしょう。

ロータリーの決算期が6月30日になったのは、6月でないと8月の大会に間に合わないという会計監査人の一言で決まったということ、私的にはどうしても皆さんにお話したかったこととなります。

幹事報告

2024-25年度 幹事 齊藤 智

- ・配布物：会報、7/27 (土) の募金活動案内
- ・10/26 第22回ロータリー全国囲碁大会、川越



市美術展覧会案内
・菊池会員作成
エンドポリオ横断幕
の紹介

委員長報告

・親睦委員会（小林（徹）会員）7月のお祝い
誕生日：糸原、橋本、西澤、栗林、福岡、島村、
小川、小橋、久保田、関谷、吉岡
配偶者誕生日：鈴木（健）、石井、佐藤（道）、沢
田、神谷、和田（喜）、鈴木（崇）、真鍋
結婚記念：真鍋、吉岡（敬称略）



・米山セミナー報告（廣瀬米山記念奨学委員長）
7/15、アルカサル迎賓館川越で開催

・END POLIO 募金活動についてお知らせ
（山田（哲）職業・社会奉仕委員長）
7/27、打ち水・ポリオ根絶キャンペーン実施

ニコニコボックス

近藤委員

- 本日の卓話担当は、戦略計画委員会です。野溝委員長宜しくお願い致します。＜会長、幹事＞
- 本日戦略計画の卓話をさせていただきます。皆で川越ロータリークラブの未来を考えましょう。＜野溝＞
- 次男夫婦に第1子が誕生致しました。4人目の孫です。私の健康寿命20年後をターゲットに頑張ります。＜野溝＞
- この度は妻の誕生日に素敵なお花を頂きありがとうございました。＜鈴木（崇）＞
- エンドポリオ横断幕作成させて頂きありがとうございます。＜菊池＞
- 今年度初参加です。西川会長宜しくお願い致します。＜須賀＞
- 昨日の社葬にはたくさんの方にお越しいただきありがとうございました。＜山崎＞
- 野溝さん戦略計画の卓話期待しています。益々良いクラブにしましょう。＜西澤、鬼頭、山田（哲）、小橋、近藤、住谷、和田（尚）、水村、山口（裕）、高橋（哲）、石井、戸口、和田（喜）、藤井、中野（文）、久保田、廣瀬、阿部、馬場（弘）、栗原、坂口＞ 合計38,000円

卓話

○卓話講師：野溝戦略計画委員長

川越ロータリークラブは、歴史と伝統を引き継ぎ、ロータリーの原点であるロータリーの目的と生涯の奉仕活動、中核的価値観は決して変えてはいけないこととして活動しております。しかし、一方では私たちを取り巻く環境の変化に対応し、変えなければならないこと、新たに取り組まなければならないことも生まれてきております。多様性、公平さ、インクルージョンをキーワードにクラブに内在する問題、クラブを取り巻く外的要因を分析して、新しいクラブのかたち、クラブビジョン、行動計画を考えることがクラブ戦略計画の目的とするものであります。



・クラブの目的とビジョンの達成のためには戦略計画が必要となります。ロータリアン一人ひとりが自分のロータリークラブについて考え、クラブの総意として未来の自分のクラブのあるべき姿を具体化していくことであります。

・2023-24年度は、アンケートの結果を踏まえてクラブが目指すべき3年後の未来像を8項目にまとめました。

・2024-25年度の戦略計画の立案方針は、ビジョンとその実現に向け優先項目を設定し、年次目標を定め、現状分析し、優先事項を設定し、3～5年後の年次目標を設定し、実施状況を随時確認していきます。

・ロータリーの戦略的優先事項である、より大きなインパクトをもたらす、参加者の基盤を広げ、参加者の積極的なかわりを促し、適応力を高めていく、といった4項目の目標をそれぞれ定めて、クラブ一丸となって取り組み、クラブの存在感を高めていくことが求められています。

（西川会長、坂口ガバナー補佐より）

西川会長：地区より一人当たり平均210ドルの目標が来ています。会員増強は純増2名となっています。ただし、地区のバランスを崩さぬように取り組んでいきたいと思っております。

坂口ガバナー補佐：国際ロータリーの計画をもとにクラブの戦略計画を策定し、3年計画を達成していただきたいと思っております。

以上、ありがとうございました。